

NEWS RELEASE



2025年11月12日
株式会社みずほ銀行

ウニノミクスグループの親会社 Verdant Bloom 社への出資について ～トランジション領域におけるブルーエコノミー（ウニ畜養事業）への取り組み～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、この度、国内外でウニ畜養事業を営むことで循環型の藻場再生に取り組む Urchinomics Group（以下、「ウニノミクスグループ」）の親会社 Verdant Bloom Ltd. に出資（以下「本出資」）を行いました。なお、本出資は、みずほ銀行の「トランジション出資枠」（※1）によるものです。

浅瀬に海藻が群生する藻場は、海洋生物の産卵など、重要な生命活動の場であるとともに、光合成により大気中の二酸化炭素を吸収・貯留する「ブルーカーボン」の創出源として注目を集めています。他方で、大量発生した痩せウニが海藻を食べつくし、藻場が枯れる「磯焼け」が大きな問題となっています。痩せウニは食用に適していないため採取も行われず、世界的に問題が拡大しています。

この問題に対しウニノミクスグループは、国内外の複数拠点で「磯焼け」を引き起こしている痩せウニを採取し、長年の知見を元にしたウニ専用の陸上閉鎖循環式養殖設備にて常時ウニに最適な環境を実現し天然由来の独自の配合飼料により良質な食用ウニへと畜養を行います。そのウニを流通させた販売収益は、ウニの持続的な除去や藻場再生活動に還元されます。

この循環型モデルは藻場の回復による環境保全と経済的利益の双方を実現する具体的かつ持続可能なソリューションであり、ブルーカーボンの創出を可能にしています。そのため、国際的にも高い評価を受けており、国連総会にて採択された「持続可能な開発のための国連海洋科学の10年」において、世界から営利企業として選定された3社のうちの1社として、公式推薦プロジェクトの一つとなっています。

今般、〈みずほ〉は、ウニノミクスグループの親会社に出資するとともに、同じく海の生物多様性保全、脱炭素化への貢献を目的にウニノミクスグループの親会社に出資する日本郵船株式会社（社長：曾我 貴也、以下「日本郵船」）との間でブルーエコノミー・ブルーカーボン分野での連携を含む覚書を締結しました。

日本郵船とともに、本出資を通じてウニノミクスグループの成長を支援することで生物多様性の維持、地球温暖化抑制に繋がる循環型藻場再生に貢献していきます。さらに、ブルーエコノミー、ブルーカーボン分野での日本郵船との連携関係構築を進め、産業知見および技術知見を拡充し、ブルーエコノミー領域の社会課題の解決に向けた具体的なソリューション開発に挑戦していきます。

ともに挑む。ともに実る。



ブルーエコノミーへの取り組みについて：

〈みずほ〉は、気候変動や資源循環（サーキュラーエコノミー）、自然資本・生物多様性といった主要な環境課題の同時解決には、個別の取り組みに加えて、相互連関性（シナジー・トレードオフ）を考慮した取り組みが重要と考えています。海洋をはじめとするブルーエコノミーは、まさにこれらの課題が交差する領域であり、〈みずほ〉はブルーエコノミーへの取り組みを通じて、相互に連関する環境課題を乗り越え、持続可能な社会への移行を積極的に推進します。

※1 トランジション出資枠：

お客さまが実施するシード（技術の種）やアーリーステージ（初期段階）等の開発段階や創業段階にあるトランジション領域に関するプロジェクト等に対し、戦略的、且つ、機動的に投資するための株式出資枠。みずほ銀行産業調査部やみずほリサーチ&テクノロジーズを中心に、長年培ってきた〈みずほ〉のトランジション領域に関する産業知見や環境技術知見を最大限に活用。

【本出資を通じて挑戦する循環型藻場再生】



【Verdant Bloom Limited の概要】

会社名	Verdant Bloom Ltd.
本社所在地	アイルランド国
設立	2024年
代表者	Giles Cadman
事業内容	持株会社

【Urchinomics Group（ウニノミクスグループ）の概要】

会社名	Urchinomics Group Ltd.
本社所在地	英国
設立	2024年
株主	Verdant Bloom Ltd. (100%)
代表者	Giles Cadman
事業内容	ウニ畜養・畜養技術提供

【ウニノミクスグループの日本法人「ウニノミクス株式会社」の概要】

会社名	ウニノミクス株式会社
本社所在地	東京都江東区
設立	2017年
株主	Urchinomics Group Ltd. (100%)
代表者	石田 晋太郎
事業内容	日本でのウニ畜養・畜養技術提供、ウニ販売、ブルーカーボンクレジット販売

以上